

With A Coordinator こーでいねーたーのページ

茅ヶ崎ボランティアだより

令和6年3月1日
第163号

編集・発行:茅ヶ崎ボランティア連絡会
茅ヶ崎市新栄町13-44 茅ヶ崎市社会福祉協議会内
TEL: 0467-85-9650 FAX: 0467-85-9651
URL: <https://cvla1980.net/>

**ボランティアへ
「はじめの一歩」**

2024年度 ボランティア大学 受講生募集!



ボランティア活動を始めた方に最適な講座です。

基礎コース: 5月8日(水)から毎週水曜日 午前中(全7回)

会場: さがみ農協茅ヶ崎ビル(新栄町13-44) 会議室 **費用**: 無料

内容: ボランティア活動とは/当事者からの体験談/福祉体験など

申し込み: 3月1日から受付・問い合わせ: 茅ヶ崎市社会福祉協議会ボランティアセンター
0467-85-9650 FAX 0467-85-9651 メール vc@shakyo-chigasaki.or.jp

選択コース: 基礎コースを修了して、各種の技術を要する活動に関心があり、その学習を希望する方が進むコースです。
ボランティア大学開講中に募集します。



ボラ活動とは



当事者体験談



障がいを理解するプログラム



修了式

こんにちは！茅ヶ崎市社会福祉協議会（以下、市社協）でボランティア担当をしています、溝口です。今年は能登半島地震に飛行機事故と、新年を喜んで良いものかと悩む年明けとなりました。地震や事故で犠牲となられた方々に謹んでお悔やみ申し上げますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞い申しあげます。

皆さまは、「災害ボランティアセンター（以下、災害VC）をご存知でしょうか。災害が起きた際にテレビ等で「〇〇で災害VCが設置されました」などと報道されるのですが、茅ヶ崎市では、市社協と市が協力し合い運営をします。

主には、被災者のニーズ（「片付けを手伝つてほしい」などの要望）の把握や災害ボランティアの受け入れ・調整などしていますが、災害VCには多くのボランティアの方々が駆け付け、ご協力いただいていると聞きます。被災地域の交通状況もありますので、災害ボランティアの募集状況を注視しつつ、被災県外からのボランティアも募集となつた際は、私も微力ながら現地で活動できたらと思つております。また、「備えあれば憂いなし」ですので、今一度自宅にある備蓄品の見直しを行い、いつ来るか分からない災害に備えなければと強く思いました。

ティアセンター（以下、災害VC）をご存知でしょうか。災害が起きた際にテレビ等で「〇〇で災害VCが設置されました」などと報道されるのですが、茅ヶ崎市では、市社協と市が協力し合い運営をします。

ボラ連活動状況

ボランティア連絡会と各グループの活動状況

各グループ	
☆手話サークル	茅の会
9月16日 中島中学校	1・2・3年生20名 地域ふれあい講座 手話学習
10月15日 鶴嶺西コミセン	福祉まつり来場者80名 点字体验
11月12日 うみかぜテラス	ふれあいの集い来場者60名 手話学習
10月15日 松浪小学校	地区福祉ふれあいまつり来場者80名 点字体验
11月7日 赤羽根小学校	1年生56名 出前講座 点字体验
11月12日 うみかぜテラス	80名 海岸地区 子・親の点字体验
11月20日 緑ヶ浜小学校	4年50名 出前講座 点字体验
10月15日 松浪地区福祉ふれあい祭の来場者	アイマスク誘導グループ 草笛 ク誘導体験
11月4日 今宿小学校	約180名 鶴嶺西地区防災訓練車いす体验
11月7日 赤羽根中学校	1年生133名 出前講座 車いす体验

ボランティア大学2024 「ボランティアに興味がある方」「すき間時間がある方」など、初心者向けの講座です。日程 5月8日(水)～6月19日(水)の毎週水曜日9時15分～11時45分の全7回 会場 さがみ農協ビル内会議室 受付 3月1日(金)8時30分より開始。

お詫びと訂正
162号の「ボラ連と各グループの活動状況」において、名称の誤りがございました。左記の通り、訂正してお詫び申しあげます。
☆布えほんループ (コスモス)
誤 4月12日 室田小学校松の実教室
正 4月12日 室田小学校松の実教室

編集後記

この「163号ボランティアだより」で編集担当は終わります。第158号から163号まで2年間担当しました。あらためて「編集後記」を読み返してみると世の中が幸に満ち溢れているとはとても言えないと強く感じました。コロナは終息方向ではありますが、感染症の免疫が弱くなつたのか、今夏は、インフルエンザとコロナが流行り市内の学校で学級閉鎖が起きました。ウクライナとロシア、イスラエルとパレスチナなど世界のあちらこちらで戦争が起こり、人が殺されていますが、我々のボランティア活動は、爾々と進めていきたいですね。最後に、ボラだよりに執筆いただいたボラ連の方々、市社協の方々、誠にありがとうございました。なにより、この編集後記を読んでくださった、あなた様にありがとうございました。

(編集担当 書記 岡田)



